

社会科〔歴史的分野〕学習指導案

授業者 広島市立〇〇中学校
教諭 〇〇〇 〇〇

1 日 時 平成19年〇月〇日

2 学年・学級 第1学年〇組

3 単元名 「なぜ文化が国風化したのか? ～国風文化は平安時代を映す!～」

4 単元について

(1) 教材観

「文化」はその時代の背景を強く映し出している。国風文化が形成された要因も、平安時代という政治や社会を背景としている。「遣唐使が廃止された。」「藤原氏の隆盛と摂関政治。」「藤原氏が、女性の家庭教師を登用して自分の娘に高い教養を身につけさせ、天皇に嫁がせた。(天皇の愛情を受けられるようにした。)」 「奈良時代にひきつづき仏教が発展していった。」などの諸条件が相互に関連し、文化の国風化がすすんだと考えられている。

(2) 生徒観

落ち着いて授業に参加することのできる生徒が多く、授業規律は比較的保たれている。第1学年ということもあり、明確な質問をすれば、それに対しては多くの反応がある。ただし、「なぜ?」「どうして?」という、思考・判断を必要とする発問をすると、関心・意欲の高い一部の生徒との学習に限られてしまうことがある。

(3) 指導観

既習の知識を用いて生徒が意欲的に学習することができるように、明確でわかりやすい資料を用いたい。さらに諸資料を活用した「なぜ?」という発問を繰り返し、文化が国風化した要因や関係性を探究させ、主要発問「なぜ、国風文化が誕生したのか?」に対する説明をさせたい。

具体的には、清少納言と紫式部の年表(年譜)や藤原氏の系図を活用して、藤原氏の台頭する宮中で、二人がどのような役割を果たしたのかを考えさせることを通して、藤原氏の行っていた摂関政治と国風文化を象徴する「かな文字」の発達が強くと結びついていることに気付かせたい。さらに要因や関係性についてまとめることのできるイメージマップ(ワークシート)を活用させることによって、文化の国風化(「なぜ、国風文化が誕生したのか?」)について説明できるようにしたい。

5 単元の目標

- (1) 平安時代に、国風文化が誕生した要因について諸資料を活用して意欲的に探ることができる。
- (2) 諸要因が相互に関連しながら文化が国風化していったことについて、諸資料を活用して説明することができる。
- (3) 国風文化が誕生した要因に関わる知識を身に付けることができる。

6 単元の評価規準

評価の観点	具体的な評価規準
興味・関心・態度	国風文化が誕生した要因を意欲的に探究しようとしている。
思考・判断	諸資料と既習の知識をもとに、文化が国風化していったことや、その要因について考えることができる。
資料活用の技能・表現	諸資料と既習の知識を活用して、国風文化が誕生した要因について探究し、説明することができる。
知識・理解	藤原氏による摂関政治、仏教の天台宗と真言宗の成立、仮名文字に代表される国風文化等の知識を身に付けている。

7 単元の指導・評価の計画（全2時間）

時	主な学習内容・学習活動	評価規準・評価方法
1	<p>平安京へ遷都した理由と、東北地方で蝦夷が抵抗したことについて理解する。</p> <p>藤原氏が摂政や関白の地位を独占し摂関政治を行った理由を考える。</p> <p>平安時代の仏教の各宗派の展開について理解する。</p>	<p>・政治権力が天皇から藤原氏に移っていくことを理解している。</p> <p>【知識・理解】</p> <p>・ワークシートなど</p> <p>・天台宗・真言宗・浄土教のことを理解している。</p> <p>【資料活用の技能・表現】</p> <p>・ワークシートなど</p>
2 本時	<p>国風文化の特徴を理解し、文化が国風化した理由について考え、説明する。</p>	<p>・年表・系図などの資料から発問への答えを読み取っている。</p> <p>【資料活用の技能・表現】</p> <p>・なぜ国風文化が誕生したのか説明している。</p> <p>【思考・判断】</p> <p>・ワークシートなど</p>

8 本時の指導細案

	学習内容・教師の発問や支援	学習活動・習得する知識	評価規準
導入	<p>●テレビ番組などでの言葉を提示して、平仮名や片仮名に関心を持たせる。</p> <p>Q. 次の漢字まじりの文字はどう読むかわかりかすか？どう感じますか？</p> <p>●平仮名や片仮名を用いないと、意味がうまく伝わっていないことをおさえる。</p> <p>●今日は平仮名や片仮名が生まれた時代の文化について学習することを伝える。</p> <p>Q. 平安時代の文化は何と呼ばれるか？</p> <p>Q. 国風文化の特徴は？</p> <p>MQ. なぜ、このような特徴をもつ国風文化が誕生したのでしょうか？</p>	<p>○一つずつ推理してみる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・変だ。なぜ漢字なのか。 ・日本語で意味を表現するのに平仮名や片仮名は大切だ。 ・意味をうまく伝えるために平仮名や片仮名が大切だ。 <p>・国風文化</p> <p>○教科書の記述を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化の国風化。 ・「日本人の感情に合った」文化。 ・「貴族たちの」文化。 	<p>・推理し、自分の考えを発表しようとしている。 【意】</p> <p>・教科書の記述から、国風文化の特徴を読み取ろうとしている。【資】</p>
展開	<p>Q. なぜ、「貴族たちの」文化になったのか？</p> <p>Q. なぜ「日本人の感情に合った」文化になったのか？</p> <p>Q. 「日本人の感情に合った」ものの代表として何が生まれたのだろうか？</p> <p>Q. なぜ「かな文字」が広まったのか？</p> <p>●[資料①]を提示する。</p> <p>Q. 平仮名を使ったのはどんな人たちか？</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・貴族が国を支配していたから。 ・藤原氏（道長）の政治力が強かったから。 ・遣唐使が廃止されたから。 ・日本人がアレンジをしたから。 ・かな文字 ・平仮名と片仮名 ・漢字では日本語の発音が表わせないから。 ・日本人の感情を書き表しやすいから。 ・簡単に書けるから。 <p>○資料を読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主に女性が使った。 	<p>・既習の知識と結びつけることができている。 【思】</p> <p>・導入のクイズと関連づけている。【思】</p> <p>・資料から、主に女性が使用していることを読み取っている。【資】</p>

	学習内容・教師の発問や支援	学習活動・習得する知識	評価規準
展 開	<p>● [資料③] を提示。</p> <p>Q. 片仮名はどのような場面で使われているか？</p> <p>●資料の「天台」ということばに注目させる。</p> <p>Q. 片仮名を使ったのはどんな人たちか？</p> <p>●片仮名は経典を読む僧侶が、読み仮名として片仮名を用いたことを説明する。</p> <p>Q. 平安時代の仏教で学んだことをあげてみよう。</p> <p>●この時代には、仏教が宗派に分かれるなど発展し、片仮名の発達を支えたことを説明する。</p> <p>Q. 教科書にある農民の訴えを調べてみよう。</p>	<p>○予想する。</p> <p>・お寺、お坊さん。</p> <p>・片仮名は経典を読む僧侶が、読み仮名として片仮名を用いたことを伝える。</p> <p>・平安時代の仏教が片仮名の発達を支えた。</p> <p>・天台宗、真言宗、最澄、空海、など。</p> <p>・この時代、仏教が盛んであった。それが片仮名の発達を支えた。</p> <p>・仏教の広がりとともに庶民の間にも片仮名が広がる。</p> <p>・教科書p 55, 69にみられる農民の訴えも片仮名である。仏教の広がりとともに庶民にも片仮名が広がった。</p>	<p>・諸資料から、片仮名の用いられた場面を推測できている。【資】</p> <p>・既知の知識を思い出すことができている。【知】</p>
ま と め	<p>MQ. どうしてそのような特徴をもつ『国風文化』が誕生したのでしょうか？</p> <p>● [ワークシート②] を配布する。学習プリントのイメージマップを完成させるとともに、国風文化が誕生した要因について、記述させる。</p>	<p>・遣唐使が廃止されたこと。藤原氏が摂関政治によって政治を動かしていたこと。藤原氏が女性の家庭教師を採用していたこと。仏教が盛んであったことなどが要因となって、国風文化が誕生した。</p>	<p>・なぜ国風文化が誕生したのかを、資料を活用して説明できている。【資】【思】</p>

9 教科書・資料

- ・教科書『新編 新しい社会 歴史』（東京書籍）
- ・[資料①]「かな文字」『みつけよう ?と! 歴史資料』（とうほう）
- ・[資料②]「系図」『まんが日本の歴史 第5巻』（小学館）
- ・[資料③]「片仮名【往生要集】」『朝日百科 日本の歴史3』（朝日新聞社）
- ・[歴史学習ワークシート①]「清少納言&紫式部年表」
- ・[歴史学習ワークシート②]「文化の国風化」
- ・紙幣「二千元札」（日本銀行）

10. 板書計画

